

44人死亡の歌舞伎町ビル火災から24年 遺族らが跡地で追悼

9/1(月) 15:50 配信



長女と次女を亡くした火災現場の跡地で、手を合わせる植田安子さん

＝東京都新宿区歌舞伎町1で2025年8月31日午後10時14分、菅健吾撮影

2001年に東京・新宿の歌舞伎町で44人が死亡した雑居ビル火災から1日で24年となるのに合わせ、遺族らは8月31日夜、ビルの跡地で献花し、犠牲者を追悼した。

ビル4階の飲食店で働いていた長女愛子さん（当時26歳）と次女彩子（さいこ）さん（同22歳）を亡くした豊島区の植田安子さん（73）は午後10時過ぎに現場を訪れ、花束を手向け、手を合わせた。植田さんは「（私が）生きている間に解決してほしい。犯人自身は分かっていると思うので、出てきてほしい」と話した。

この日初めて訪れた愛子さんの友人で団体職員の男性（53）＝渋谷区＝は「事件が記憶から薄れてしまうのはどうかと思う。当時から犯人が捕まってほしい思いは変わらない」と話した。

火災は01年9月1日未明に発生。新宿区歌舞伎町1のビル（地上4階、地下2階）から出火し、3階のマージャン店と4階の飲食店にいた客や従業員ら計44人が一酸化炭素中毒などで死亡した。出火原因の特定には至っておらず、警視庁は放火の疑いがあるとみて捜査を続けている。【菅健吾】